

## 第 25 回中国語コンテスト

2019 年 11 月 21 日（木）午前 10：45 より開始 L 801 教室

審査員：矢田博士先生、鄭高咏先生、葛谷登

（塩山先生、桑島先生は所用にてご出席かなわず）

参加者 12 名

基礎部門 5 名（内訳：経営 3 名、国コ 2 名。全員一年生。

尚、応募者 1 名〔経済〕は当日欠席）

応用部門 7 名（内訳：経済 2 名、国コ 5 名。

二年生 2 名、三年生 2 名、四年生 3 名。

尚、応募者 2 名〔経済と法〕は当日欠席）

今年度は参加者の総数が少なかったのですが、基礎部門に韓国からの留学生、応用部門にベトナムからの留学生が参加したことが特徴でした。また基礎部門では未修外国語として中国語を選択していない学生の参加がありました。世界の中で中国語が global language として意識されつつあることを思い知らされました。中国経済の顕著な伸長を背景にしているのでしょうか。

参加者は少人数ながらも練習の成果が見られました。

練習により正確に発音されるようになっていきます。ただ大勢の前で朗読する以上、聞き手の立場を考えて大きな声で読むことが必要であるのではないかと改めて考えさせられました。

昨年度の参加者は基礎部門が 15 名、応用部門が 12 名であり、全部で 27 名の参加者がいました。今年度は結果として大幅減になっています。参加者の人数を増やしコンテストを活気あるものにする手立てを講ずる時期に来ているのかも知れません。例えば、課題文を入れ替えたり、アンケートを作成して参加者に記入してもらうようなことなどが考えられるのではないのでしょうか。

朗読のコンテストが少しでも学生さんの中国語授業の励みになればと期待するものです。

以上 （文責 葛谷）